

## 現地レポート

山形県山辺町

## さくらんぼの基肥・礼肥・芽だしに 千代田化成は「こてらんね〜」



渡辺新太郎さんは「渡辺果樹園」を営まれている生産者です。年3回のさくらんぼの施肥に全て千代田化成を使用されている理由や、栽培のこだわりについて伺いました。



**サンアグロ**  
SUN AGRO CO., LTD



樹を前にするとプロの目に

### ■基肥・礼肥・芽だし すべて千代田

「友人の紹介で使い始めました。もう二十五年になります。」  
基肥・礼肥・芽だしともに千代田化成を使われています。  
「年間の施肥割合は、芽だし二割、礼肥三割、基肥五割です。施肥量は普通よりちょっと多いと思います。」  
これ以外に堆肥とリン酸資材を施用するそうです。  
「礼肥は七月中に施用します。基肥には千代田と有機質肥料の配合を使っています。」  
千代田を一年中使い続ける理由は、「大好きな肥料だからです。」



一つ一つ真心こめて



こまめな手入れが収穫につながる



「よそと比べると、樹高は低めです。」

### ■管理の基本は整枝剪定・ 樹高は低め

「樹の下まで光が入るように整枝剪定すること。良いさくらんぼを作るための条件です。」  
山形県は言わずと知れた日本一のさくらんぼ産地です。  
渡辺さんには樹の管理方法にこだわりがあります。  
「樹高は低めです。私も背丈が低いから。」



■編集後記  
果物がたわわに実った姿を見ると幸せな気持ちになるのは私だけでしょうか。そんな気持ちにさせてくれるのは、生産者の皆様のご苦労があるからこそです。ただ今回は、日々のご苦労などまったく感じさせない生産者にお会いすることが出来ました。「笑顔が笑顔を呼ぶ。」とても幸せな気持ちになれた取材でした。

### ■「こてらんね〜」肥料

「千代田化成は他には変えられない本当に良い肥料です。山形弁ではこういうことを「こてらんね〜」と言います。これからも使い続けますよ。」  
ご自宅では果実の箱詰めが手作業でされていました。  
ふくよかのでつやかなさくらんぼに、渡辺さんの笑顔が写って見えました。渡辺さん、ご協力ありがとうございました。



見ているだけで幸せ

### ■春は芽かき作業が重要

「春には芽かきをします。これは絶対に必要な作業です。」  
芽かきをするとうまいとでは、果実の出来がまったく違ってくるそうです。  
「花芽が樹の下端まで全部に八個くらいつくようにします。」  
確かに園内のさくらんぼは、みな下段までたわわに果実が実っていました。